

平成27年度第2回豊山町給食センター運営委員会会議録

- 1 開催日時 平成28年2月22日(月)午後3時30分～午後4時10分
- 2 開催場所 豊山町給食センター 会議室
- 3 出席者

(1) 給食センター運営委員

学識経験者	伊藤 政子
豊山中学校PTA代表	東 幸秀
豊山小学校PTA代表	井手 眞由
新栄小学校PTA代表	上野 美香
志水小学校PTA代表	森田 知枝
豊山中学校長	一木 直久
豊山小学校長	富田 和美
新栄小学校長	小川 貴
志水小学校長	丹羽 孝之

(2) 事務局

豊山町教育長	西川 徹
給食センター所長	飯塚 泰行
学校栄養職員	山田 武
給食センター職員	早川 晴男

4 議題

- (1) 平成27年度学校給食事業(中間報告)について
- (2) 平成28年度学校給食事業(案)について
- (3) その他

5 議事内容

局長： 定刻になりましたので、ただいまより平成27年度第2回豊山町給食センター運営委員会を開催します。

それでは、会議次第に沿って進めさせていただきます。まずは西川教育長よりあいさつを申し上げます。

教育長： 早いもので1年が終わろうとしています。給食の配給も1月を過ぎました。振り返りますと第1回の委員会でも申し上げましたが、給食の配給の課題については、食の安全を考えて、食中毒、異物の混入、賞味期限、産地偽装、食のアレルギー、給食費の滞納などいっぱいありました。

全てが改善されたわけではありませんが、給食センター全力上げて子どもたちの安全安心、おいしい給食づくりに努めてきました。

本日は、平成27年度学校給食事業（中間報告）及び平成28年度学校給食事業（案）が議題になりますけれども、声を聞かして頂ければと思います。よろしくお願いします。

局長： 本日、配布しました資料の確認をお願いします。

平成27年度第2回豊山町給食センター運営委員会会議次第、資料1：平成27年度学校給食事業（中間報告）について、資料2：平成28年度学校給食事業（案）について以上でございます。

お手元の資料に不足、落丁などがありましたならお申出ください。よろしいでしょうか。

局長： ここで、委員長よりあいさつをお願いします。

委員長： あらためまして、こんにちは。

寒い中、この委員会にご出席いただきましてありがとうございます。年度末が近づきことさら忙しい日々が続きます。

本日は、審議事項が2件あります。委員各位におかれましては、忌憚のない意見をいただき、会議の運営にご協力いただきますようお願いいたします。

局長： ありがとうございます。それでは、議題に入ります。

委員長よろしくお願いします。

委員長： 議事に入ります。不慣れではございますが議事進行については、ご協力のほど、よろしくお願いします。

本日の出席委員数は9人です。よって定足数に達しておりますので本委員会は成立します。

では、初めに、平成27年度学校給食事業（中間報告）についてを議題とします。事務局より説明願います。

事務局 （資料により説明）

委員長： 説明が終わりました。質疑を行います。質疑のある方はどうぞ。

委員： 給食センターの老朽化に伴う建て替えについて、今後の進捗状況、特にこの場所で建て替えるといった話をお聞きしましたが、そのあたりのお話をお尋ねします。

事務局： この建物は昭和53年に竣工され39年経ってまいりました。その間、国にあつて衛生管理等が改正され、この施設では、その対応も困難な状況となってきました。そうしたことから、建て替えを行っていきたく考えています。

今年の1月22日に、4業者から、この敷地内で施設を建て替えするための提案を受け、この場所で新しい給食センターを作りなおしてやっ

けることが概ね確認できました。

今後どんな建物が計画できるのかより詳細に検討していくことが来年の事業となります。これを基本計画づくりといい、この基本計画づくりで建物の確認がとれたら次年度以降に設計に入り、工事を行っていきます。こうした中であってその間の給食をどうするのかも検討してまいる予定にため現状では、給食をどうするのかも決まっています。

委員： 期間はどれぐらいですか。

事務局： これも、業者から様々な提案があり1年以内から1年2箇月といったものがありました。今後決めていきたいと考えています。いずれにしても給食が止まる期間をできる限り少なくしていきたいと考えています。

委員長： その他ありませんか。よろしいでしょうか。質疑もないようですので、議題「平成27年度学校給食事業（中間報告）について」は、これを了承します。

続きまして、議題平成28年度学校給食事業（案）についてを議題とします。事務局より説明願います。

事務局： （資料により説明）

委員長： 説明が終わりました。質疑を行います。質疑のある方はどうぞ。

委員： 親子ふれあいの回数について、学校ごとで異なっていますがどうしてですか。

事務局： 学校側の事情であると思っています。

委員： 来年度、学校から依頼があれば実施していただけるのですか。

事務局： 学校から依頼があれば親子ふれあいに限らず学級指導も含めて回数を増やすことは可能と考えています。

委員： ご飯の量が多いと感じますが。

事務局： ご飯の量は、昔と比べると減らしていると聞いています。ご飯の量は基準が決まっており、その基準により配布しています。

委員： 残渣が多いと伺ったが、残りをジャンケンで勝ったものが、もらうと言ったことを聞いたが、どうか。また、給食委員さんも頑張って減らすような工夫をしているように聞いていますがどうですか。

事務局： 残渣がおおいかどうかはクラスによって違っています。また給食委員、担任などの努力によって減らす工夫をしていると伺っています。

委員長： その他ありませんか。ないようですので平成28年度学校給食事業については終わります。

その他に入ります。事務局何かありますか。

事務局： 特にありません。

委員長： ないようですので、以上で本日の委員会を終わります。不慣れでしたが皆様のご協力により終了しました。これをもちまして、閉会といたします。